

KENCON COOP JOURNAL

【建コンコープジャーナル】2024年1月26日発行 通巻第121号

No. 121

編集/発行
建設コンサルタンツ協同組合
Japan Consulting Engineers Cooperation

〒110-0001
東京都台東区谷中3-1-5 谷中ミハマビル303号
TEL. 03-5834-7760 FAX. 03-5834-7761
URL <http://www.kencon-coop.or.jp>
E-mail webmaster@kencon-coop.or.jp

PDF版



建設コンサルタンツ協同組合 理事長

山内 一晃

企業運営に困難な時代。
1社では解決できない問題を解決する一助に。



建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤本 尚伸

組合員の皆様の利益と発展のために、
連携強化と様々な事業活動を展開していければ。



建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤條 豪史

建設コンサルタント技術者の心得、
初心を思い出させるきっかけに。



PDF版

山内一晃理事長ご挨拶	1
藤本尚伸副理事長ご挨拶	2
藤條豪史副理事長ご挨拶	3
YouTube公式チャンネルのご案内	4
事務局移転のお知らせ	4
組合員名簿	5

建設コンサルタント技術者の心得

建設コンサルタント技術者はその使命と職責を自覚し、社会的地位の向上を図るために、下記の各条を実践する。

一. 人格の形成

知的産業に従事する職業人としての常識と教養を身に付け、さらに敬愛される人格の形成に精進する。

二. 技術力の向上

あらゆる機会に合理性と創造性を追求し、常に高い技術力の修得に努力する。

三. 倫理の徹底

いかなるときも中立的立場を堅持し、秘密を厳守して、クライアントおよび公共に不利益をもたらさない。

四. 公共の福祉増進

建設関連業を通じて、公共の福祉増進に貢献し、地域ひいては国家の繁栄に寄与する。

この「心得」は企業としてのモットーであるべきであると同時に、建設コンサルタント業の社員一人一人の心得るべき事項でもある。社内規定等に採用するとともに、あらゆる機会にこれを表示して、建設コンサルタント技術者の認識と社会的地位向上のために資していただきたいと考えるものである。

「建設コンサルタント技術者の心得」は第6代福岡保理事長の提案で常設の「経営研究会」が設置され、当協同組合のモットーともいべき標語の検討にかかった。慎重審議を重ね、平成2年3月23日の理事会で制定をみるに至った。

ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 理事長

山内 一晃



新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、新しい年をお迎えになりましたことをお慶び申し上げます。また、平素より当協同組合の活動にご協力いただきまして、まことにありがとうございます。

2024年を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まずは元旦に発生した能登半島地震で被災された皆様、関係各所の皆様におかれましては謹んでお見舞い申し上げます。私の会社も青森県八戸市に本社を構えており、約13年前に発生した東日本大震災で被災したため、少しはお気持ちをわかるつもりでおります。13年経った今でも前のような風景は帰ってきておりません。しかし、復興もだいぶ進んでおり力強く進んでいます。被災された皆様、地域の1日も早い復旧・復興をお祈り致します。東北からも国土交通省をはじめ、いろいろな団体を通じ、お手伝いをさせていただいております。当組合の皆様の中もお手伝いに行っている会社もあると思います。皆さんで乗り越えていきましょう。

昨年、世界ではロシアのウクライナ侵略、イスラエルとハマスの衝突、北朝鮮のミサイル、日本では円高、物価高騰、大雨・大雪による災害など大変な1年だったと思います。一方、新型コロナ対応は5類に移行し、経済も回り始め、外国人観光客もコロナ前より来るようになり、通常の生活ができるようになってまいりました。

しかし、組合活動ではZOOMによる講習会が主流になるなど、時代の様相も変わり、皆様と直接会い、集合形式でのイベントはなかなか難しくなっております。組合としては、できる限り有益な情報を発信していきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

さて、組合各社の皆様には、受注の確保に加え人員確保、技術継承など問題が山積している状態だと思えます。また所得拡大促進、インボイス制度、国土交通省ではインフラDXが本格的に実施されてきております。中小企業にとって、会社運営するにあたり困難な時代となって参りました。このような状況ではございますが、協同組合で相互に情報交換し合い、「相互扶助の精神」のもと1社では解決できない問題を解決する一助となればと考えております。

最後になりますが、今後も理事役員一同、組合各社のため、本年も誠心誠意尽力していきます。今後も皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

皆様にはご自愛いただき、会員各社様、社員様、ご家族様にとって、よりよき1年になることをご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

建設コンサルタンツ協同組合 副理事長

藤本 尚伸

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

まずは、令和6年能登半島地震により被害に遭われた皆さまへ、心からのお見舞いを申し上げます。そして、ご家族や大切な方々を亡くされた皆さまへ、謹んでお悔やみを申し上げます。

旧年中は、建設コンサルタンツ協同組合の事業運営にご協力いただき、誠にありがとうございました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症も5類へと移行され、少しずつではありますが、以前の生活へと戻りつつある年でした。組合員皆様におかれましては、感染防止対策を徹底しながら、社会インフラの整備や災害対応など、国民の暮らしを支える重要な役割を果たしてくださいました。

このような皆様のご努力に心から敬意を申し上げます。

本年は、建設業界にとっても節目の年となります。4月には、建設業における時間外労働の罰則付き上限規制が全面適用されます。これは、建設業の働き方改革を推進し、人材の確保と育成を図るための重要な施策です。建設コンサルタント業界としても、DXやi-Constructionなどの先進的な技術を活用し、生産性の向上と労働環境の改善に取り組んでいく必要があります。

また、気候変動や自然災害などの社会的課題に対しても、持続可能な社会の実現に向けて、建設コンサルタントの専門性と知見を発揮していくことが求められます。

当組合といたしましては、組合員の皆様の利益と発展のために、関係機関との連携を強化し、公共事業のさらなる適正な発注・契約環境の整備などにつながる、様々な事業活動を展開していければと考えております。

また、業界の魅力や貢献を広く社会に発信し、建設コンサルタントの存在価値と信頼を高めていくことに努めてまいります。

現状、担い手不足・人手不足は、いまだ解消されず喫緊の課題となっています。この災害の多い日本では、建設産業はとても重要な役割を担います。持続可能な社会を形成するため、迅速な復旧・復興を行うため、さらに災害に強い国土をつくるため、本業界の必要性・重要性を広め、若者の入職者を増やさなければならないと考えております。組合としての活動により、ひとりでも多くの担い手を獲得するのが、使命だと思います。さまざまな場面で、組合員皆様にご協力をお願いするかもしれません。何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、建設コンサルタント業界の一層の発展と、皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

建設コンサルタント協同組合 副理事長

藤條 豪史



年頭のご挨拶をもうしあげます

昨年は、新型コロナ5類移行を受け、私が日々通勤する横浜の街にも多くの外国人観光客が戻り、移行前の閑散とした風景をすっかり忘れてしまいがちな日常を当たり前のように感じるできるようになりました。

組合員の皆様にとっても少し明るい風景を感じながらの新しい年をさらに感じているのではないのでしょうか。

新年を迎えるにあたり、改めて当組合が定期的に発行しているジャーナルについて考えてみたいと思います。

組合員の皆様、ジャーナルの表紙の次のページには、目次の下に「建設コンサルタント技術者の心得」なるものが必ず毎号掲載されている事にお気づきでしょうか。私も一組合員の時には目にはつくものの、その内容については読むどころか気にもとめていませんでしたが、平成27年(2015年)から監事として組合活動に参加させていただくようになった時に初めてその内容を熟読し、初心を思いださせるきっかけとなりました。

「建設コンサルタント技術者の心得」一、人格の形成、二、技術力の向上、三、倫理の徹底、四、公共の福祉増進の4つの心得が示されています。ジャーナルにおいてはその心得が示す具体的な内容も示されていますが、建設コンサルタントとして、一技術者として忘れてはいけないものと感じておりますが、とりわけその中でも、私は“人格の形成”の中の“敬愛される人格の形成に精進する”というところに、一番目がとまりその難しさを感じると共に日々の過ごし方の重要性を深く感じとります。

年頭の挨拶にあたって目まぐるしく変貌していく社会情勢の中、一技術者として一中小企業の経営者として組合員の皆様と共に、組合活動を進めていきたいと思っております。

建設コンサルタント協同組合は、皆様一緒に作っていく組合であり続けたく、これからも引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

YouTube 組合公式チャンネル



組合公式チャンネルを活用して、情報の発信と共有に役立たせませんか。



当組合では、YouTubeに公式チャンネルを開設しております。

公式チャンネルに動画を公開していただくことで、皆様の企業PRにお役立ていただければと思っております。

皆様の会社PR動画や、技術紹介動画など、内外に向けて広くアピールすることが出来ます。

また、組合員さま同士での情報や技術の共有が目に見える形で可能となり、

組合の理念であります『相互扶助』を、動画という側面からみなさまにご提供できればと思っております。



動画公開をご希望される組合員さまは、下記をご参考に動画をご用意ください。

- 5分～30分程度の動画
- 一般公開／限定公開・公開期間など自由に設定いただけます。
- ZOOM録画等を利用いただき、動画ファイルをそのままお送りいただければ、事務局でYouTubeへのアップロードまでサポートいたします。
- 動画のタイトル(○○○技術の紹介等)および社名、部署名、お名前を動画とともにお知らせください。
- すでに完成されている動画を公開することも可能です。詳しくは事務局までお問合せください。

【ご注意事項】

※お送りいただいた動画内容は、組合YouTubeチャンネルでの公開以外には使用いたしません。

※動画の中に、各種権利を侵害するもの(技術・資料・アプリケーション・音楽等)が含まれている場合は、該当箇所の修正・削除をしていただくようになりますので、事前にご確認のうえご用意ください。



組合員様向け期間限定配信中!

『事業承継セミナー』

～成功事例、失敗事例から学ぶ事業承継の留意点～

【講師】

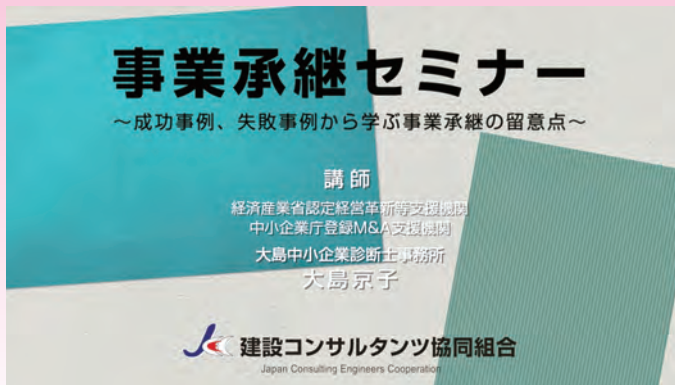
経済産業省認定経営革新等支援機関
中小企業庁登録M&A支援機関

大島中小企業診断士事務所 大島 京子氏

※2024年2月末日までの期間限定配信です。

※こちらの動画は組合員様のみ視聴できる「限定公開」動画となります。

※詳しくは事務局までお問合せください。



■組合では随時セミナー動画の募集も行なっております。詳しくは事務局までご連絡ください。

【事務局移転のお知らせ】

建設コンサルタンツ協同組合事務局は、昨年豊島区東池袋から台東区谷中に移転しました。これを機に更に皆様のご期待に添えますよう、一層の努力を重ねていく所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

建設コンサルタンツ協同組合 事務局

〒110-0001 東京都台東区谷中 3-1-5 谷中ミハマビル 303号
TEL : 03-5834-7760
FAX : 03-5834-7761



建設コンサルタンツ協同組合
Japan Consulting Engineers Cooperation

Table with 6 columns: 組合員会社名, 代表者氏名, 会社所在地, 組合加入年月日, 従業員人数. Contains 118 entries of member companies and their details.

 KENCON COOP
JOURNAL

編集／発行

 **建設コンサルタンツ協同組合**
Japan Consulting Engineers Cooperation

〒110-0001
東京都台東区谷中3-1-5 谷中ミハマビル 303号
TEL. 03-5834-7760 FAX. 03-5834-7761
URL <http://www.kencon-coop.or.jp>
E-mail webmaster@kencon-coop.or.jp